

# アルファテック710

アルファテック710は、コンクリートと金属の双方に対し優れた接着性を示すエポキシ断面修復材です。

強度の発現が速く、且つ厚塗り作業が容易で、コンクリート構造物の断面修復に適します。

## 主な特徴

- 天井面や鉛直面に2～3cmの厚塗り作業ができます。
- 強度の発現が速く、硬化養生時間を短縮できます。

## 主な用途

- コンクリート構造物の断面修復
- コンクリート・石材・樹脂モルタル・鋼材・ガラス・ゴム・木材の接着。

## テクニカルデータ

未硬化物の性状(23℃)	アルファテック710		
	主剤	硬化剤	フィラー
主成分	変性エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン	特殊無機フィラー
外観色	透明色	淡黄色	灰色
外観(混合)	灰色		
混合比(重量)	100	42	—
混合比(重量)	1(樹脂)		3.3 (フィラー)
粘度	ダレ認めず(垂直ダレ試験)		
比重	1.3±0.1		
可使時間	20分		

硬化物の性状			
試験項目	試験方法	養生条件	物性値
圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	JIS K 7208	23°C × 5時間	14
		23°C × 6時間	25
		23°C × 1日	50
		23°C × 2日	51
		23°C × 7日	56
曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )	JIS K 7171	23°C × 1日	14
		23°C × 7日	22
接着強さ (N/mm <sup>2</sup> ) (プライマー使用/セメントモルタル相互)	JIS A 6024	23°C × 7日	6 MF 以上
線収縮率 (mm/mm)	ASTM D 2566	※1	0.000674

※MF: セメントモルタル破壊 ※1: (23°C × 7日) + (60°C × 1日) + (23°C × 1日)  
※本記載の物性は当社研究室で採取した代表結果であり保証値ではありません。

## 使用方法

- ①施工面の粉塵、水分、油分を除去してください。
- ②主剤と硬化剤を100:42(重量比)で計量、混合し空気の巻き込みに注意し十分に攪拌してください。
- ③攪拌した樹脂にフィラーを混合し、フィラーが樹脂で全て覆われるまで十分に混練してください。  
◇一度に混合する量は可使時間内に使い切れる量としてください。

※プライマーとしてアルファテック442をご使用ください。

## 容器形態

### 【10.05kg / 7.7L セット】

主剤	1.65kg	(ペール缶)
硬化剤	0.7kg	(プラスチックボトル)
フィラー(002)	7.7kg × 1袋	(防湿紙袋)

※製品改良のため予告なく記載事項を変更することがあります。

## 注意事項

- ・直接皮膚に接触するとかぶれを生じることがありますので、取り扱いに注意して下さい。
- ・取り扱いには保護具(保護メガネ、ゴム手袋、マスク等)を着用し、換気を充分に行って下さい。
- ・樹脂が皮膚に付着した場合は速やかに拭き取り、石鹼水等でよく洗い流して下さい。
- ・目に入った場合は多量の水で洗浄し、医師の診察を受けて下さい。
- ・使用にあたってはSDSをお読み下さい。

**アルファ工業株式会社**  
**ALPHA KOGYO K.K.**

横浜本社 〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-51 TEL:045-500-0500 FAX:045-500-0550  
URL: <https://www.alpha-kogyo.com> / E-mail: [alpha-kogyo@alpha-kogyo.co.jp](mailto:alpha-kogyo@alpha-kogyo.co.jp)  
1-1-51 SUEHIRO-CHO, TSURUMI-KU, YOKOHAMA-SHI, 230-0045 JAPAN  
神戸事業所 〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通6-3-3 TEL:078-681-7051 FAX:078-671-2282  
6-3-3 ASIHARADORI, HYOGO-KU, KOBE-SHI, 652-0882 JAPAN